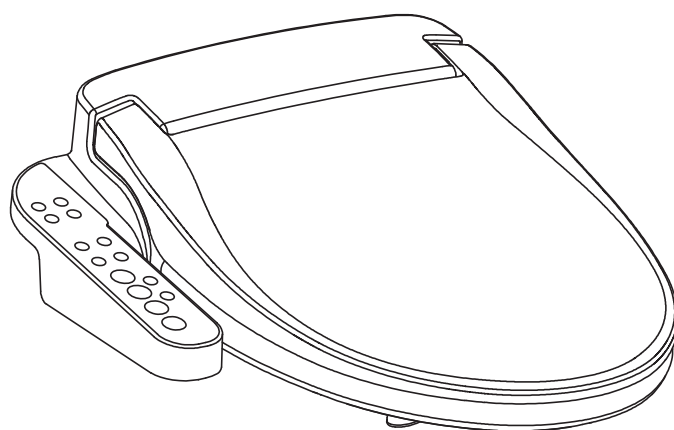


温水洗浄便座 ———

取扱説明書

IB-410-HWST(瞬間式)



REHOMA

もくじ

02	安全上のご注意
04	各部の名前
05	取り付け前の確認
06	取り付け手順(設置工事)
09	ご使用前の確認 / 試運転
10	各部の働き及び使いかた
14	凍結防止について
15	知っておいていただきたいこと
16	お手入れ
18	仕様
19	故障かな?と思ったら
21	点検のお願い
22	保証書

- このたびは当社温水洗浄便座をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に本取扱説明書を
よくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の
程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡または重傷を負う可能性が 想定される」内容です。
	注意 「使用者が軽傷を負うか、物的損害のみの 発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を
次の図記号で説明しています。

	禁止 してはいけない 『禁止』の内容です。
	必ず実行 必ず実行していただく 『強制』の内容です。

 警告	
 分解禁止	分解や改造を絶対に行わない 火災や感電、けがの原因になります。
 水ぬれ禁止	便座本体、ノズル部、コンセントに汚水や小便、水をかけない 火災や感電、電子回路部の故障や変色の原因になります。
 アース線接続	アースを確実に取り付ける アース工事を行っているか確認してください。故障や漏電の際に感電するおそれがあります。 アースの取り付けは必ず電気工事店に相談してください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。
 火気禁止	たばこなどの火気類を近づけない 火災の原因になります。
 電源プラグを抜く	お手入れのときは電源プラグを抜く 感電や故障の原因になります。
 禁止	電源コードが傷んでいたら使用しない 感電、ショート、火災の原因になります。 電源コードや電源プラグ、コンセントが傷んでいたら使用しないでください。 雷が発生しているときは、電源プラグやコンセントにさわらない 感電のおそれがあります。 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水は使用しない ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。 機械内部の腐食による感電や火災、異物が詰まって故障の原因にもなります。 電源コードは束ねたままで使用しない 電源コードが断線、発熱し、火災の原因になります。 車両、船舶など、移動体への設置はしない 火災や感電、故障の原因になります。温水洗浄便座本体がはずれて落下し、けがをすることがあります。 コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない たこ足配線で定格を超えると、発熱や発火の原因になります。

⚠ 警告

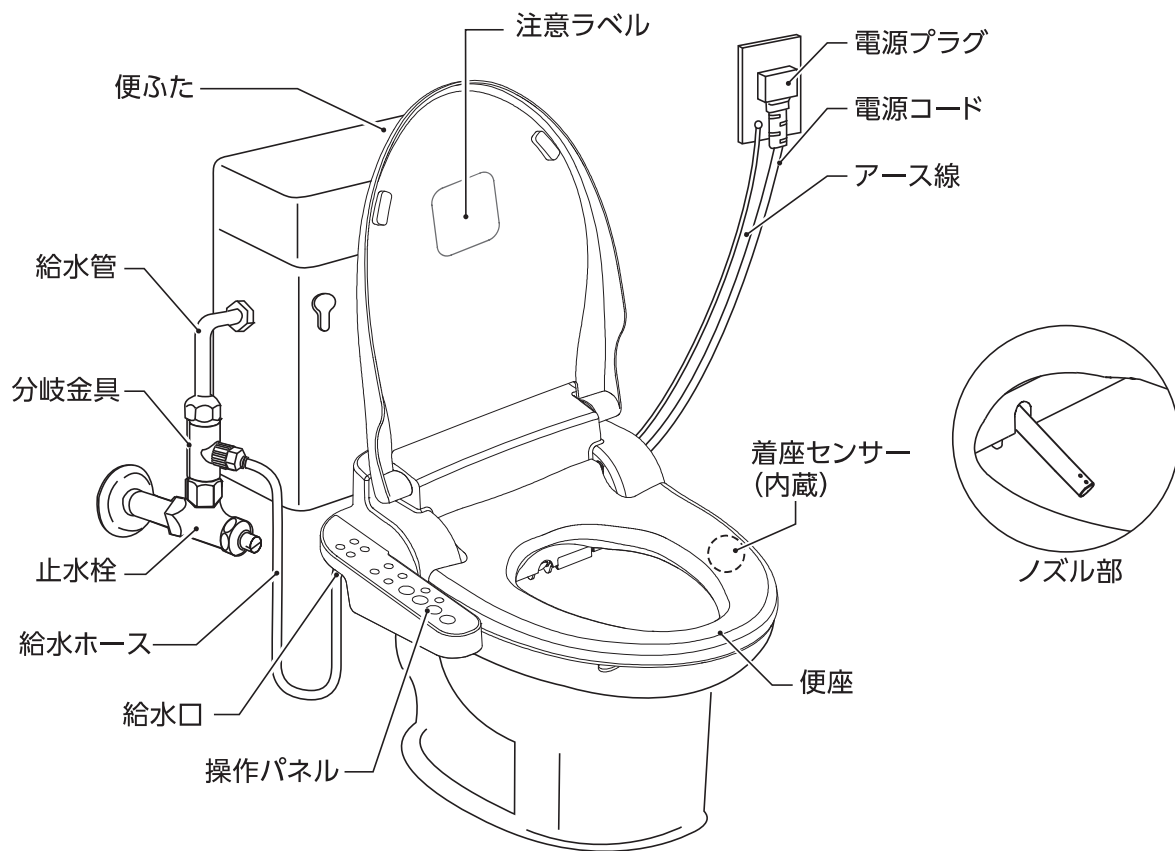
 禁止	故障したままで使い続けない。 次のような時は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。 (配管や本体から水漏れしている、製品が異常に熱い、製品にひびや割れが入っている、製品から煙が出ている) 故障したまま使い続けると、火災、感電、室内浸水の原因になります。
 必ず実行	電源は交流100Vのコンセントを使用する(50Hz／60Hz) 交流200V、船舶などの電源で使用すると感電や過電流による火災の原因となります。 電源プラグの抜き差しは必ず、電源プラグ本体を持って行う 電源コードを引っ張ると感電やショート、発火による火災の原因になります。 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む 感電、ショート、発煙、発火のおそれがあります。 低温やけどに注意する 比較的低い温度でも長い時間、皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。 ※万が一、低温やけどをされたときは直ちに専門医の診察を受けてください。 新築・改修工事後や水道断水の復旧後は必ず配管内の空気を抜く 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具、配管の破損や故障の原因となります。 けがをしたり、漏水により建物、家財などを濡らし、財産を損害するおそれがあります。

⚠ 注意

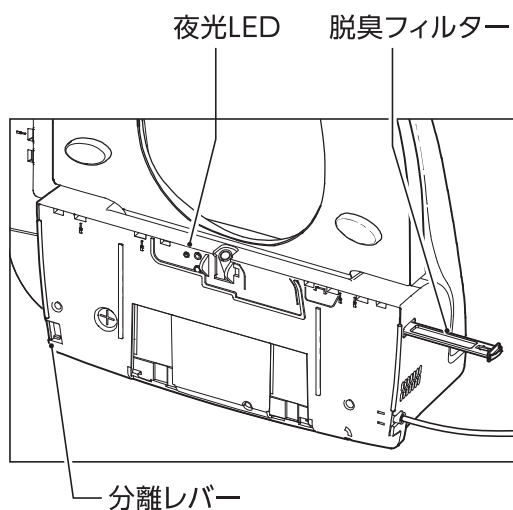
 禁止	本体操作部に手をついて座ったり、便ふたに寄りかからない 本体操作部や便ふたにもたれかかって過剰な荷重を加えると、破損や故障、けがの原因になります。 お子様が使用するときは、周りの方が注意してあげてください。 配管に力を加えたり、給水ホースを折り曲げたりしない 漏水の原因になります。
 必ず実行	外気温が0℃以下になるときは、凍結による破損の予防を行う 本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結すると給水配管や本体内部が破損し、漏水の原因になります。 暖房をつけるなど室内を暖めてください。 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める 室内の浸水の原因になります。 長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座本体内部の水を抜く 水が腐敗して、皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。 電源プラグはノズル使用后、10秒以上経過したことを確認してから抜く 万が一、ノズル使用后10秒を経過せずに電源プラグを抜いたり、停電した場合、動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良などが発生する原因になります。

各部の名前

| 本体



| 便座裏面

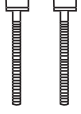
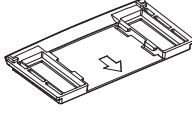
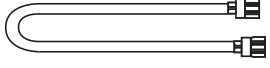


<用意する工具>

- ※施工空間に見合ったものをお選びください。
- ・24mmのスパナ、またはモンキーレンチ
 - ・マイナスドライバー

| 付属品

※下記付属品が同梱されているか、確認してください。

 固定ボルト 2本	 半丸パッキン 2個
 ベースプレート 1個	 スリップワッシャー 2個
 給水ホース(100cm) 1本	 固定ナット 2個

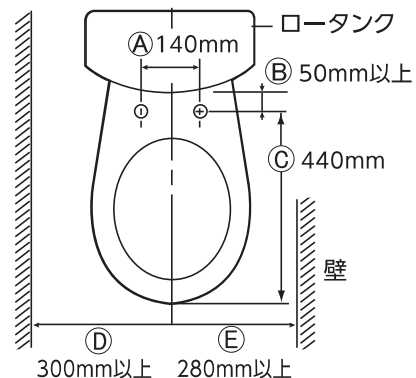
- ※2枚目のパッキンは予備用となります。
- 分岐金具 1個
 - パッキン(厚み2mm) 2個

取り付け前の確認

1. 取り付け便器について

取り付け便器の寸法を確認します。

① ② ③ ④ ⑤ の必要寸法があるか、確認してください。
必要寸法がないと、便座本体を取り付けることができません。
レギュラーサイズ (標準) の便器に取り付ける場合、
便座の先端が「便器の先端」よりも多少出っ張ったり、
便器の縁が見える場合があります。



2. 給水について

使用水は必ず水道水(上水道)を使用してください。

中水道や工業用水、井戸水は使用できません。

使用可能水道圧範囲は、0.069 (流動時)～0.735MPa (静止時) (0.7～7.5kgf/cm²) です。
0.069MPa (0.7kgf/cm²) 以下の水圧では、水勢調節幅が狭くなったり、
使用できない場合があります。

3. 止水栓について

・止水栓が付いているか確認してください。

・止水栓が付いていない場合やフラッシュバルブ式の場合は、別途工事が必要となりますので、
専門業者にご依頼ください。

4. アース端子について

・コンセントにアース端子が付いているか確認してください。

・アース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。

※アース線を取り付けしないと、故障や漏電の際に感電するおそれがありますので、必ずアース線を取り付けてください。

取り付け手順(設置工事)

警告



電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まない。
電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で便座本体を立てかけたり、
裏返すと発煙・空焚き・水漏れの原因になります。

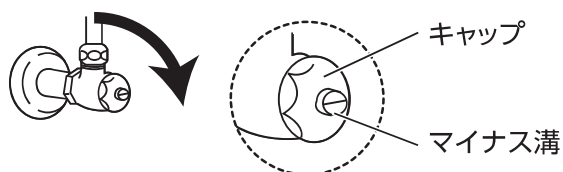
※本製品は水道水を使用して検査をしております。

本製品を取り出す際にホースやノズルから多少水滴が出るありますが、故障ではありません。

1.分岐金具の取り付け

①止水栓を右に回して閉めた後、ロータンの洗浄ハンドルを回して、給水されないことを確認してください。

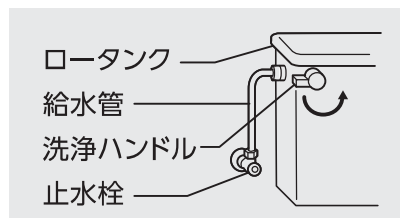
■ 止水栓がマイナス溝タイプ



■ 止水栓が内ネジタイプ



■ 止水栓がハンドルタイプ



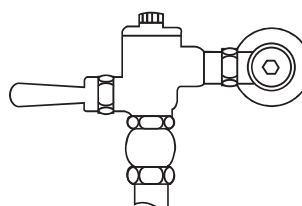
※便座の取付後は止水栓の開きを元の位置に戻します。閉める前に開き量の目印をつけておいてください。

<止水栓がない場合>

■ 寒冷地用給水管(止水栓なし)



■ フラッシュバルブ式



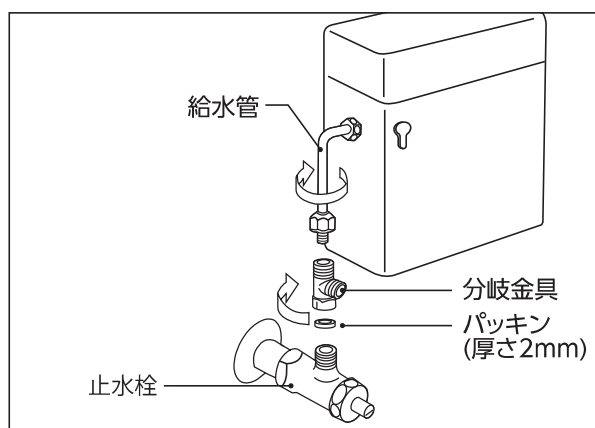
※寒冷地用給水管などの既設給水管に止水栓がない場合は、専用配管が必要になります。

※フラッシュバルブ式の場合は、専用のアダプターが必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

②給水管と止水栓の間に分岐金具を取り付けます。

提供されたパッキンの一つを使います。

※施工が必要な場合は、水道工事店にご相談ください。



2.既存便座の取りはずし

①便座を固定しているナットを手で回し、取りはずします。

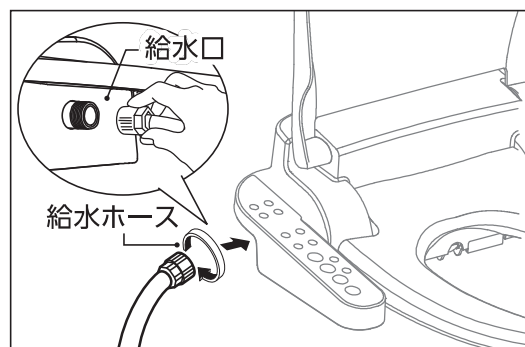
②便座を取りはずします。

※転居時の再使用など必要があれば、取りはずした便座、パッキン、ナットの保管をお勧めします。



3.給水ホースの取り付け-1

便座の給水口に給水ホースを取り付けてください。



4.ベースプレートの取り付け

①便器の便座取り付け穴に合わせて、ベースプレート便器に乘せてください。

②固定ボルトをベースプレートと便座取り付け穴に差し込みます。

③固定ボルトに半丸パッキン・スリップワッシャーを通し、固定ナットを取り付け、手で仮締めします。

※本締めは便座本体を取り付けてから行います。



5. 温水洗浄便座の取り付け

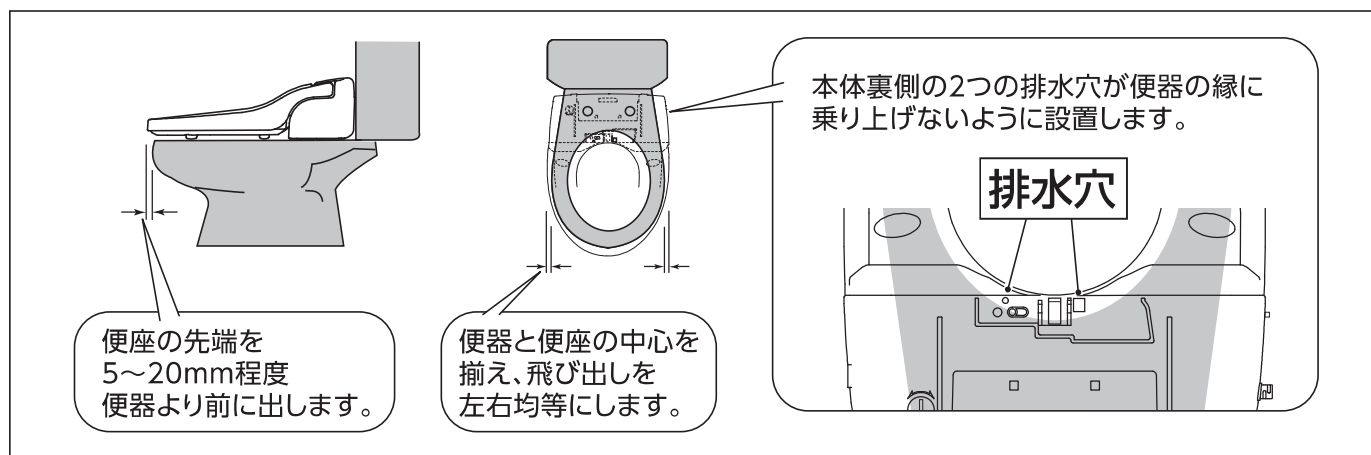
- ① 便座本体とベースプレートの矢印を合わせ、便座をベースプレートの奥まで確実に差し込みます。

便座本体を手前に引き、固定されたことを確認してください。

- ② 便器と便座本体の位置を下図のように調整してから固定ナットを本締めします。

※締め付け相手は樹脂ボルトなので、しっかりと手締めしてください。

※排水穴が便器の縁に乗り上げると、排水が便器を伝い、床面を浸水させるおそれがあります。



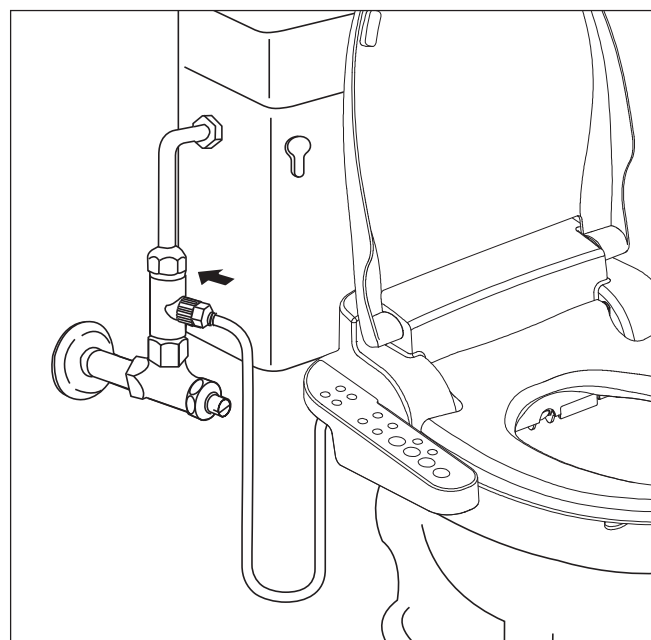
- ③ 便座本体を取り付けた後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

6. 給水ホースの取り付け-2

給水ホースのナット側を分岐金具につないでください。

※フレキホースのナットは樹脂ナットです。

しっかりと手締めしてください。

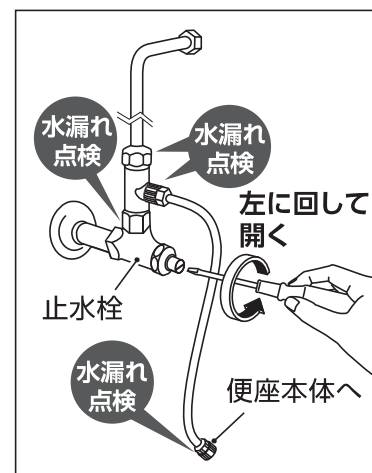


ご使用前の確認 / 試運転

ご使用前の確認

「水漏れの点検」

- ①給水の前に、配管接続部にゆるみがないか再度確認してください。
- ②止水栓を開いて、配管接続部から水漏れがないか確認してください。
※止水栓を閉める前と同じ水量が出る位置に戻してください。
- ③ロータンクの水を排出し、確実に給水されるか確認してください。
- ④給水管接続部より水漏れがないことを確認してください。
※水漏れしている場合は止水栓を閉め、再施工して水漏れを止めてください。

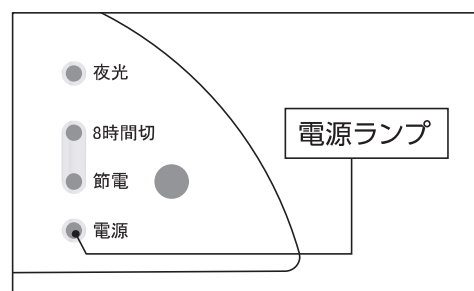


試運転

※試運転の前に梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、ノズルから洗浄水が吹き出す様子が確認できるようにしてください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

着座センサーに触れずに電源プラグをコンセントに差し込み、操作パネルの電源ランプが点灯していることを確認してください。
※着座センサーが検知している状態で電源プラグをコンセントに差し込むと試運転時の給水動作および電源を入れ直した後の洗浄動作ができません。
※電源プラグをコンセントにさし込んだ直後は、約10秒間マイコンが初期設定を行いますのでスイッチ操作を受け付けません。
初期設定終了後に試運転を行ってください。



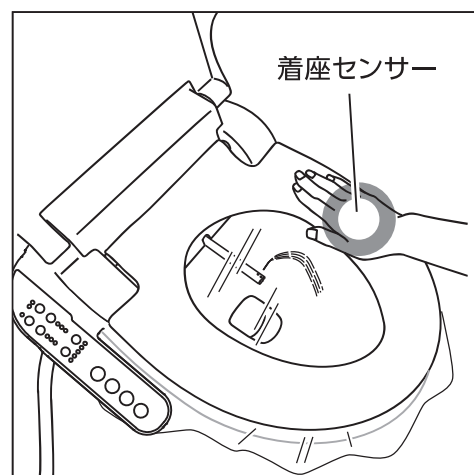
2. 洗浄動作の確認

便座の着座センサー位置シール部を手のひらで触り、着座センサーをONにして[おしり] (おしり) または[ビデ] (ビデ) を押して洗浄水が出ることを確認してください。

[止] (止) を押すと、洗浄水が止まります。

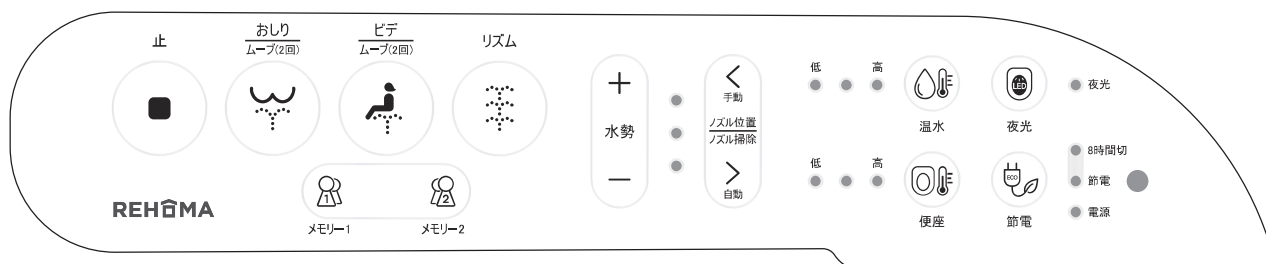
※洗浄動作が正しくできず、電源を入れ直す場合は1と2の手順をやり直してください。

※洗浄前後および洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちることがあります。これは洗浄ノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



各部の働き及び使いかた

操作パネル



おしり洗浄・ビデ洗浄

1. 座る
- ・便座の中央に座ります。(着座センサーをONにします。)
 - ・脱臭を開始します。

2. 洗う



おしり洗浄

排便後の局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。

※習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください



ビデ洗浄

生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

※長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。

常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。

※局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。

※局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

<おしり洗浄・ビデ洗浄の時に>

「水勢を調節する」

- ・洗浄開始時には、中間の強さで始まり洗浄中にボタンを押すと強さが調整できます。
- ・強くするときは **+** を押す。
- ・弱くするときは **-** を押す。

「ムーブ洗浄をする」 ノズルの動きによる洗浄

- ・おしり洗浄の場合…[おしり]  を一回押すと開始されます。
- ・ビデ洗浄の場合…[ビデ]  を一回押すと開始されます。
- ・ノズルが前後に伸縮し、広い範囲を洗浄できます。
- ・もう一度各ボタンを押すとムーブ洗浄が終了し、ムーブ洗浄前の洗浄に戻ります。

「リズム洗浄をする」 洗浄水の強弱による洗浄

- ・おしり洗浄かビデ洗浄中に[リズム]  を押すと強弱のリズミカルな洗浄水で洗浄します。
- ・もう一度押すとリズム洗浄が解除されます。

3. 止める おしり(ビデ)洗浄が停止します。

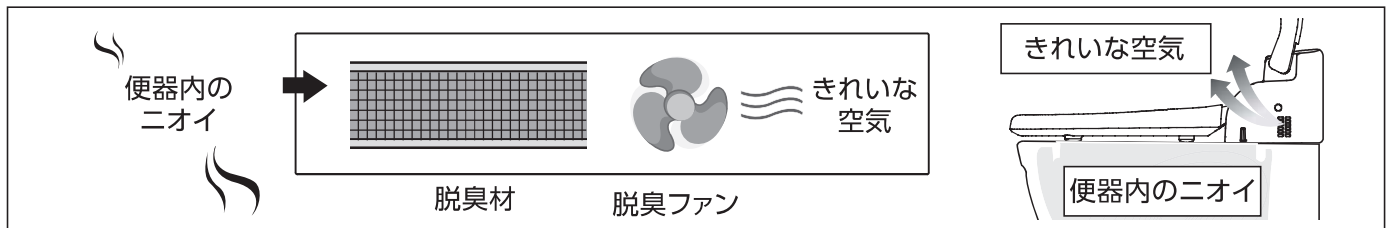
※[止]  を押さないで便座から立ち上がると数秒間水が勢いよく出ることがあります。

※洗浄停止後、ノズル付近から水が落ちることがあります。

これはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。

脱臭機能

- ・便座に座ると自動的に脱臭を開始します。(脱臭ファンの動作音がします。)
- ・脱臭運転は便座から立ち上がった後、約1分間運転し、自動的に止まります。
- ・便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭は止まります。
※ニオイをパワフルに分解する触媒脱臭を採用しています。
- ・脱臭材で三大臭気成分*を吸着させ、触媒でニオイを分解し、きれいな空気を室内に送ります。
*便と尿には硫化水素、メチルメルカプタン、アンモニアの三大臭気成分が含まれています。



温水の温度設定

- ・設置後、温水の温度は「切」になっています。好みの温度に設定してください。
- ・[温水]  を押すごとに設定温度が切り替わります。3段階の温度調節ができます。
- ・温水ランプが点灯していない場合、お湯が出ません。
- ・現在の温水温度の設定状態を表示します。

消灯/切 → 約34℃ → 約37℃ → 約40℃

- ※1. 周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※2. 給水温度が15℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

便座の温度設定

- ・設置後、便座の温度は「切」になっています。好みの温度に設定してください。
- ・[便座]  を押すごとに設定温度が切り替わります。3段階の温度調節ができます。
- ・便座温度を切（暖房しない）にするときは、ボタンを押してランプを消灯の状態にしてください。
- ・現在の便座温度の設定状態を表示します。

消灯/切 → 約35℃ → 約37℃ → 約39℃

- ※周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※便座上面を暖めることを目的としているため、側面や先端を触ると冷たく感じるがありますが、故障ではありません。



低温やけどに注意する。

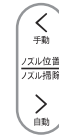
比較的低い温度でも長い時間、皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

次のような方にはご注意ください！

- お子様、お年寄り、ご病気の方
- 皮膚の感覚の弱い方
- 深酒をしたり、疲労の激しい方
- ご自分で温度調節のできない方
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用された方

※万が一、低温やけどをされたときは直ちに専門医の診察を受けてください。

| ノズル位置設定



- ・洗浄開始時には、中間の位置で始まり洗浄中にボタンを押すと位置が調整できます。
- ・前に移動させるときは「<」を押す。
- ・後に移動させるときは「>」を押す。
- ・使用を終えて便座から立ち上がると、設定された位置を常に記憶しています。

| メモリー設定

- ・最大2人分の設定を記憶します。
- ・おしりまたはビデ洗浄のとき、水勢・温水温度・便座温度・ノズル位置・ムーブをそれぞれ好みの状態に設定し、[メモリー1]  または [メモリー2]  を約3秒間押すとその設定を記憶します。
(設定を記憶すると長いブザー音がします。)
- ・設定された[メモリー1]  または [メモリー2]  を押すと記憶した設定でおしりまたはビデが動作します。
(メモリー設定機能動作時には短いブザー音がします。)

| 夜光設定

- ・[夜光]  を押すと、夜光モードが設定されます。
もう一度[夜光]  を押すと機能が解除されます。
- ・夜光モードが設定されると、トイレの明るさを温水洗浄便座自らが感知して夜光LEDが点灯し、夜間の温水洗浄便座使用時にトイレの電灯をつけずに使用できます。

節電機能

設置後、節電設定は「切」になっています。

お出かけやお休みの時など、長時間使用しない場合にお使いください。

操作パネルの[節電]を押すと自動節電と8時間切節電を選択できます。

「節電モード」

- ・節電モード設定中は、「節電」ランプが点灯します。
- ・節電モード設定中、便座温度は35℃になります。
着座すると設定温度になりますが、立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・温水温度は、設定温度のままです。
※周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

「8時間切モード」

- ・8時間切モード設定中は、「8時間切」ランプが点灯され、
温水・便座への通電を停止します。
着座すると約5分後に設定温度になります。
立ち上がると再び通電を停止します。
- ・8時間切モードに設定した後、8時間が経過すると「8時間切」ランプが消灯し、
最後に設定した温水温度・便座温度に戻ります。

例:9時に8時間切モードに設定すると、
8時間後の17時に通電を開始します。

0:00	9:00	17:00
設定温度	通電停止	設定温度

「途中で解除したい時」

- ・[節電]を押して、各表示ランプを消灯させます。

「このような時は」

- ・節電モード中に便座に座ったら
 - 設定中の便座温度は35℃ですが、着座すると数分で設定温度になります。
立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・8時間切モード中に便座に座ったら
 - 設定中は便座の通電を停止していますが、着座すると通電を開始し約5分後に設定温度になります。
立ち上がると再び通電を停止します。
- ・途中で停電になったら
 - 停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、節電機能が解除されますので、
もう一度設定し直してください。

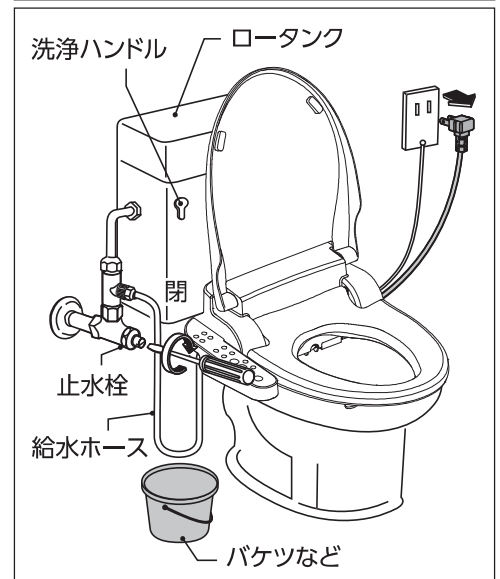
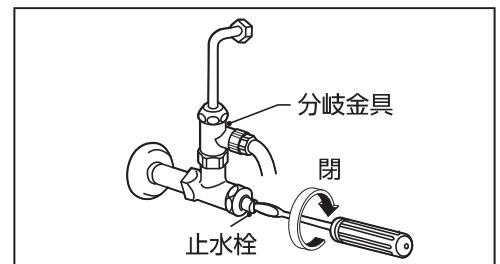
凍結防止について

凍結の恐れがある場合

- ・本製品は寒冷地仕様ではありません。寒冷地でトイレの室温が0℃以下になるおそれのある場合や、長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜いて便座本体内部の水抜きをしてください。
- ・他の器具でトイレ内を暖房器具などで暖めてください。
※暖房器具の注意書きに従って使用してください。
暖房器具の熱源を近づけすぎると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- ・配管部は市販の凍結防止テープヒーターを取り付けてください。
- ・トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの方法

- 1.電源プラグを抜く
- 2.止水栓を閉める マイナスドライバーで右方向に回します。
- 3.ロータンクの洗浄ハンドルを操作し、給水しないことを確認
- 4.給水ホース内部の水抜きをする
 - ①給水ホースを分岐金具から取り外し、水抜きをします。
 - ②水抜きした後、給水ホースを分岐金具に取り付けます。
※バケツなどの容器を用意し、給水ホース内の水を受けてください。



「万が一凍結してしまったときは」

温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水管接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。
※給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
給水ホースが破損するおそれがあります。

「水抜き後の再通水の方法」

1. マイナスドライバーで左方向に回します。
2. 電源プラグ(着座センサーに触れずに)をコンセントに差し込み、電気を供給し、洗浄機能の動作確認を行います。
※試運転を参照し、行ってください。

知っておいていただきたいこと

| 着座センサー

- ・本製品は着座センサーが付いています。
便座に座らないとおしり洗浄やビデ洗浄はできません。
- ・洗浄機能使用中に立ち上がったたり体を浮かせたときは、着座センサーが「切」になり、洗浄機能が停止します。
※便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合がありますので、使用しないでください。
※便座本体のお手入れ時に着座を検知する場合があります。
お手入れ前は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

| 切り忘れ防止タイマー

- ・各洗浄機能が作動してから約90秒で自動的に洗浄機能が停止します。

| 便座の温度

- ・周辺温度が20℃に満たない場合は、所定の温度に達しないことがあります。

| 低温やけど防止

- ・長時間便座に座り続けると低温やけどになる場合があります。
- ・便座に座ってから、約1時間後に自動的に便座ヒーターが切れます。
(水勢表示ランプが3個点滅し、操作パネルのボタンを押しても動作しません。)
立ち上がり、再度着座すると自動的に最後に設定した便座温度に戻ります。

| 水道圧が低いとき

- ・水道圧が0.069MPaより低いと、水勢を「強」にしても十分な水勢が得られないことがあります。
- ・十分な水勢が得られていても、他の蛇口で水道を使うことで、水道圧が0.069MPaより低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。

| 電源プラグを抜く際は

- ・電源プラグはノズル使用后、10秒以上経過したことを確認してから抜いてください。
万が一、ノズル使用后10秒を経過せずに電源プラグを抜いたり停電した場合、
動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良につながる場合があります。

お手入れ

⚠ 警告	 お手入れのときは電源プラグを抜く。 感電や故障の原因になります。
	お手入れが終了したら、電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
⚠ 注意	便座の汚れはやわらかい布、またはうすめた台所用中性洗剤(アルコール成分を含まないもの)を含ませた布で拭き取ってください。 ・シンナー、ベンジン、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を掛けないでください。 便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。 ・酸性、アルカリ性洗剤や塩素系洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの腐食、故障の原因になります。 ・クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やナイロンたわしは使用しないでください。 変色、変形、傷の原因になります。 ・乾いた布やトイレットペーパーなどでこすらないでください。傷の原因になります。
	便器内を洗剤でお手入れするときは… ・便器内の清掃にトイレ用洗剤および消毒剤などを使用するときは、早め(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。(便器用洗剤などの気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの故障の原因になります。)便座についてしまったら、確実に拭き取ってください。 便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。

便座本体

便座本体を取りはずして、裏側や便器の上面も掃除してください。

1. 便座本体を取り外す

- ① 便座本体左下奥にある分離レバーを押します。
- ② そのまま便座本体を手前に引きます。

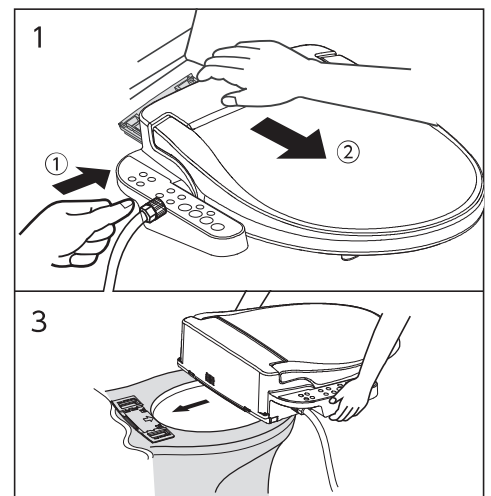
2. お手入れする

便器面を掃除してください。

※給水ホースなどに無理な力がかからないようにしてください。

3. 便座本体を取り付ける

- ① 便座本体とベースプレートの矢印を合わせてください。
- ② ベースプレートの奥まで確実に差し込んでください。
便座を手前に引き、固定されたか確認してください。



便ふた

便ふたを取り外してお手入れすることができます。
ふたを閉じた状態で取り外し、取り付けを行ってください。

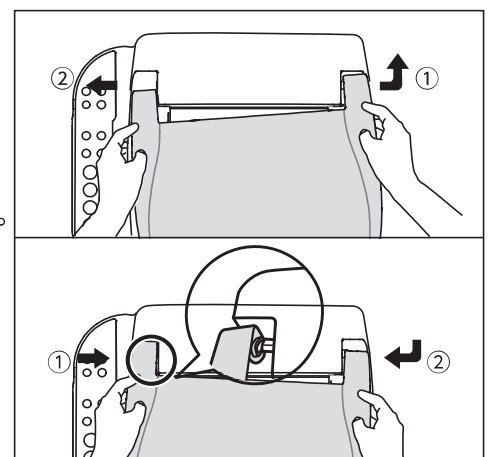
1. 便ふたを取り外す

- ① 便ふたの右軸を広げながら、ヒンジ部を軸から外し持ち上げてください。
- ② 左軸を外してください。
※指をはさまないように注意してください。

2. お手入れする

3. 便ふたを取り付ける

- ① 外した状態と同じ角度で、左軸を先に取り付けてください。
- ② 便ふたの右側を広げながら右軸を取り付けてください。



ストレーナー

ストレーナーが詰まると洗浄水の水勢が弱くなりますので、お手入れしてください。

1. 止水栓を閉める

マイナスドライバーで右方向に回します。

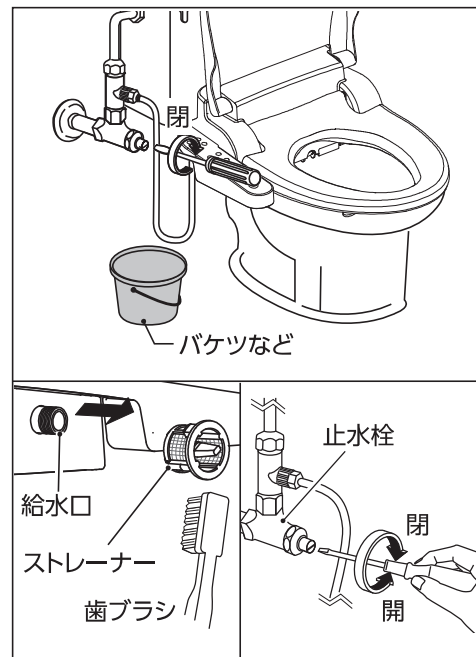
2. ストレーナーを掃除する

- ① 給水口の下にバケツなどを置いてください。
- ② 給水ホースを給水口より外してください。
- ③ 給水口内にあるストレーナーをラジオペンチなどを使って取り出してください。
- ④ 水洗いしながら歯ブラシなどを使って掃除してください。
- ⑤ ストレーナーの取付方向を間違えないように奥まで差し込んでください。
- ⑥ 給水ホースを給水口に取り付けてください。

3. 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。

※給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。



ノズル

ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったり、ノズルの動きが悪くなりますので、必ずお手入れしてください。

※着座していないときのみ、ノズル洗浄機能が動作します。

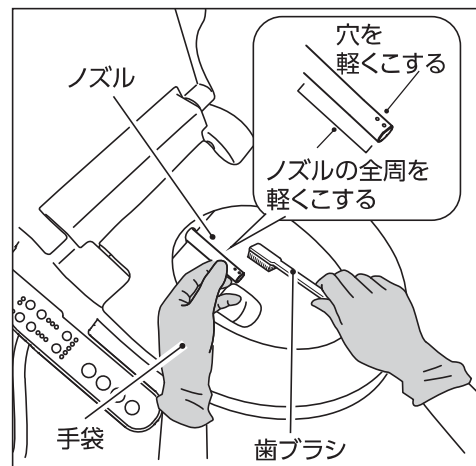
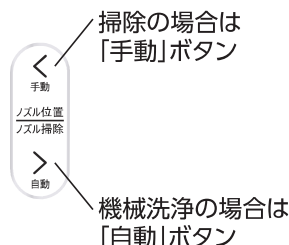
■ ノズル洗浄 (機械洗浄)

ノズル掃除「自動」ボタンを押すと
2分間ノズル洗浄の水を出しながら
ノズルが前後に動作します。

■ ノズル洗浄 (掃除)

ノズル掃除「手動」ボタンを押すと
本体からノズルが2分間出た状態を維持します。
(歯ブラシなどを利用するとノズル掃除が容易です。)

■ 「止」ボタンを押すとノズル洗浄を停止し、 ノズルを収納します。



脱臭フィルター

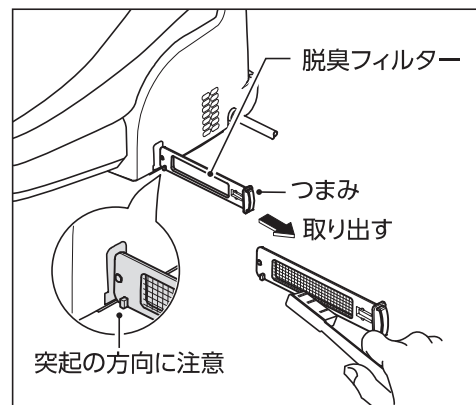
1. 脱臭フィルターを取り出す

2. 脱臭フィルターを掃除する

脱臭フィルターの網部のほこりを歯ブラシなどで
取り除いてください。(1ヶ月に1回程度)

※脱臭フィルターにほこりがつきますと、脱臭ファンの動作音が大きくなります。

3. 脱臭フィルターを差し込む



仕様

品番		IB-410-HWST
定格	電 源	交流100V、50～60Hz(共用)
	消 費 電 力	1275W(本体1220W便座 55W)
年間消費電力 ※①		89(128)kWh/年
省 エ ネ 区 分		瞬間式
給 水 方 法		水道直結式
電 源 コ ー ド		長さ 約1.2m
使用水圧範囲 ※②		0.069MPa(流動時)～0.735MPa(静止時)
温水洗浄	おしり洗浄	0.55L/分(水勢「強」)1穴
	ビ デ 洗 浄	0.55L/分(水勢「強」)1穴
	水 勢 調 整	3段階
	温 水 温 度	マイコン制御、切・約34～40℃ 3段階
	安 全 装 置	温度過昇防止器、温度ヒューズ
脱臭装置	脱 臭 方 式	触媒脱臭
	運 転 制 御	マイコン制御(着座センサー連動)
暖房便座	表 面 温 度	マイコン制御、切・約35～39℃ 3段階
	安 全 装 置	温度ヒューズ
その他の安全装置		漏電遮断器(内蔵)、着座センサー(内蔵)
製 品 寸 法		幅470mm×奥行530mm×高さ156mm
製 品 質 量		約4.0kg

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※①省エネ法(2012年度基準)に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の算定式により、4人家族(男性2人・女性2人)で1日あたりおしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算定しております。

()内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力となります。

※②使用水圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことをお確かめください。

症状	確認するところ	処置
電源ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに奥まで差し込みます。
	操作パネルの電源ランプが点灯になっていませんか。	電源ランプを点灯にします。
洗浄水が出ない (ノズルが出ない)	水道が断水していませんか。	通水されるまで待ちます。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開きます。
	給水口のストレーナーが詰まっていますか。	ストレーナーを取り出して掃除し、めめりを歯ブラシなどで取り除きます。
	ノズルの水出口穴が詰まっていますか。	ノズルの水出口穴を歯ブラシなどで確実に掃除します。
	着座センサーが間違えて動作していませんか。	着座センサーの上に座ります。
	便座に座っていますか。	座って使用します。
	市販品の便座カバーをつけていませんか。 ※切り忘れ防止タイマーが働き、洗浄水は連続洗浄時間が約90秒を経過すると、自動で止まります。	便座カバーを取りはずして使用します。
洗浄水が弱い (ノズルが出ない)	水圧が普段より低くなっていますか。 (※0.069MPa以下)	他の水道の同時使用をなるべく避けます。
	水勢の設定が「弱」になっていませんか。	水勢の設定を「強」にします。
便座が温かくない、 または冷たい	便座温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。	[便座温度]ボタンを押して「高」側に設定します。
	8時間切モードになっていませんか。	8時間切モードを解除します。
	トイレ室内の温度が低くなっていますか。	周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
洗浄水が温かくない、 または冷たい	温水温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。	[温水温度]ボタンを押して「高」側に設定します。
	8時間切モードになっていませんか。	8時間切モードを解除します。
	トイレ室内の温度が低くなっていますか。	周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
	給水温度が低くなっていますか。	給水温度が15℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
便座本体ががたつく	ベースプレートの固定ナットがゆるんでいますか。	固定ナットを増し締めする。
	便座本体がベースプレートから外れていませんか。	ベースプレートの奥まで確実に差し込む。

症状	確認するところ	処置
便座や便ふたが開いたときに 静止しない	市販品の便座カバー、便ふたカバーが ついていませんか。	便座カバー、便ふたカバーを 取りはずして使用します。
水勢表示ランプが 3個点滅する	市販品の便座カバーがついていませんか。	便座カバーを取りはずして使用します。
	長時間、便座に座り続けていませんか。	便座から立ち上がります。
脱臭効果が 感じられない	脱臭フィルターの網部に ほこりがついていませんか。	ほこりを取り除きます。 便座本体後部の換気口の目詰まりを取り除きます。
	脱臭剤の使用期限(約7年)を 越えていませんか。	脱臭剤を交換します。
配管、給水ホース 接続部から 水が漏れる	接続部のナットが ゆるんでいませんか。	①漏れている箇所のナットを締め直します。 ②パッキンがきちっとはまっているか確認します。 ③パッキンが劣化していないか確認します。
	ナットのねじ山が ななめ締めになっていませんか。	手締めで再接続します。
	ストレーナーと給水アダプターの間に 隙間が空いていませんか。	隙間が「0」になるまでストレーナーを 締めこみます。
ノズル付近から 水が漏れるが しばらくすると 止まる	洗浄前後、 ノズル付近から水が落ちますか。	洗浄前後、ノズル付近から1～2分水が 落ちるのは、ノズル内の残水によるもので 故障ではありません。
以前使用していた 機種より洗浄水が 弱いまたは強い	他機種からの買い換えの場合、以前の製品と構造が異なる為、交換前のものと比べて洗浄水が 弱く感じる場合や強く感じる場合があります。 製品の特性であり、故障ではありません。	

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、
電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店販売店・またはお客様サービスセンターに連絡してください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

「日常点検」

- ・電源コードを動かすと電源ランプがついたり消えたりする。
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・配管や本体から水漏れしている。
- ・製品にひび割れが入っている。
- ・暖房便座が暖かにならない。
- ・異音、異臭がする。
- ・製品が異常に熱い。



故障したまま使い続けると、
火災や感電、室内浸水の原因になります。
すぐに使用を中止し、販売店に
連絡をしてください。

「定期点検のおすすめ」

- ・安全に末永く快適にご使用いただくために、約5年を目途に定期点検を受けていただくことをおすすめします。
(定期点検に要する費用は保証対象外です。)
- ・逆流防止装置が磨耗・劣化すると水の逆流の原因になりますので、お早めの交換をおすすめします。

保証書

保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

品番		保証期間	
IB-410-HWST		1力年	
ご購入日	令和	年	月 日
お客様	ご住所:		
	お名前: お電話:		
お取扱店	住所:		
	名前: 電話:		

※お買い上げ日・販売店の欄に記載のない場合は無効になります。必ずご記入ください。

「保証規定」

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無を確認してください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書 本体付着ラベル等の注意書にしたがった使用状態で、保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
 - 保証期間内に修理を依頼される場合は、お買い求めの取付店・販売店のサービスセンターにお申し付けください。
 - 出張修理を依頼される際は、本書をご提示ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は原則として有料修理になります。
 - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障及び損傷。
 - お取付後の移設・輸送・落下などに起因する当該品の不具合。
 - 建築物の変形など、製品以外の原因による不具合。
 - ネズミなどの動物や昆虫による被害、またはそれらの死骸が製品内に残留することによる不具合。
 - 火災・地震・水害・落雷・温凍害・その他天災地災及び公害・塩害・ガス害(硫化水素ガス等)・異常電圧指定外による使用電源(電圧・周波数)等に故障及び損傷。
 - 離島またはそれに準じる遠隔地での出張修理に伴う実費。
 - 正しい施工が行われなかったことによる不具合。
 - 消耗品類(パッキンや脱臭カートリッジ、乾電池など)の経年劣化や摩耗劣化による不具合。
 - 指定以外の水質(水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水)の給水時における異物の詰まり等による故障及び損傷。
 - 通常の手入れ不足による汚れや不具合。
 - 車輪・船舶などの移動体への搭載に使用された場合の故障及び損傷。
 - 駅や商業施設など、使用頻度の高い場所に設置された場合の故障および損傷。
 - ゴミ噛みや水垢固着による不具合。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にご購入日・お客様名・店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※本書は、明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、販売店のサービスセンターにお問い合わせください。

フローバル株式会社 TEL:0120-453-802

REHÔMA